

三徳だより

第116号 2026年（令和8年）春・夏号

発行：社会福祉法人三徳会
<https://www.santokukai.com/>



品川区
荏原特別養護老人ホーム
荏原在宅介護支援センター
荏原在宅サービスセンター
荏原障害者計画相談支援事業所

特別養護老人ホーム 成幸ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0053 品川区中延1-8-7 TEL.(代)03-3787-3616 FAX.03-3783-6580

品川区立戸越台特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
〒142-0041 品川区戸越1-15-23 TEL.(代)03-5750-1054 FAX.03-5750-1055

品川区立荏原特別養護老人ホーム・在宅サービスセンター・在宅介護支援センター・ショートステイ
障害者計画相談支援事業所
〒142-0063 品川区荏原2-9-6 TEL.(代)03-5750-2941 FAX.03-5750-3695

小山台在宅介護支援センター
〒142-0061 品川区小山台1-4-1 TEL.(代)03-5794-8511 FAX.03-5794-8512

品川区立平塚橋特別養護老人ホーム・ショートステイ・高齢者多世代交流支援施設「平塚橋ゆうゆうプラザ」
〒142-0054 品川区西中延1-2-8 TEL.(代)03-5750-3632 FAX.03-5750-3642

小山在宅サービスセンター「小山の家」
〒142-0062 品川区小山7-14-18 TEL.(代)03-5749-7251 FAX.03-5749-7252

小山在宅介護支援センター TEL.(代)03-5749-7288 FAX.03-5498-0646

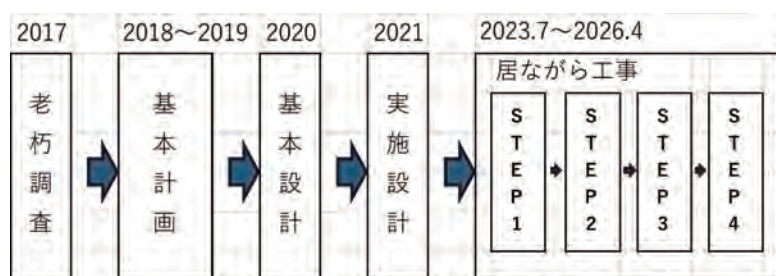
荏原複合施設 大規模改修工事の軌跡



時には高所作業も

荏原複合施設では、平成9年の竣工から25年余りが経過し、令和5年から大規模改修工事に着手しました。「居ながら工事」として、保健センターが仮設運営事業所に移転したエリアを種地として仮設事業所を作り、以降、仮設を作っては移動し、完成後また新たな仮設を作っては引っ越すことを繰り返し、STEP1～STEP4の約3年間の行程を終え、この度、完成の運びとなりました。

内装仕上げには都下の多摩産材が使用され、温かみのある空間が広がりました。老朽化した箇所のリニューアルだけでなく、照明のLED化、カメラ型見守りセンサーの搭載、転倒時のリスクを抑えるための床素材の見直しなど安全性と維持管理のしやすさ、利便性の向上が図られました。これからも皆さまに愛され、活用される施設を目指してまいります。

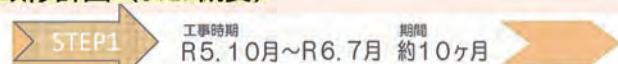


廊下を転用し、食事スペースに



工事エリアと運営エリアの分け

改修計画（STEP概要）



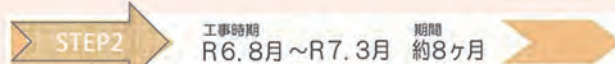
保健センター移転後の空きスペースに特養仮設室を設置し引越、空きスペースを仮設利用して事務室、居室、B1、2階等を工事。



仮設特養居室



仮設デイセンター



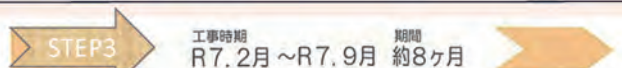
1階空きスペースに仮設厨房を設置し、厨房引越し。B1階調理室廻りを工事。3階、4階は居室、医務室等を工事



仮設厨房



改修後医務室



仮設利用していた1階部分をデイセンター、食堂等に復旧する。3、4階は居室、浴室廻りを工事。特養部分主な工事は概ね完了



特養居室



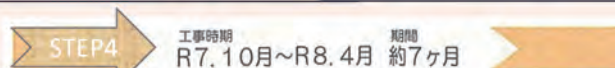
1階浴室



1階デイセンター



3階食堂



保健センター、オアシス、ポップンルームエリアを工事する。健康センターは戻らず、スペースは保健センター部分となり竣工。



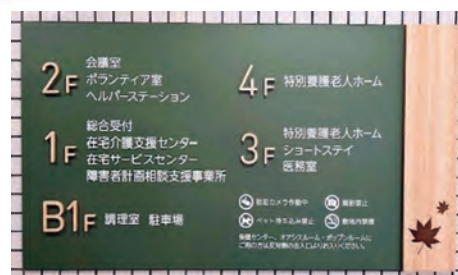
保健センター待合廊下



歯科検診室



オアシスルーム



フロアのご案内は木製品。
温かみのある掲示板です。



中庭のシンボルツリーは「小羽団扇楓（コハウチハカエデ）」。「葉が小さく愛らしい葉で、秋の紅葉が楽しみです」。



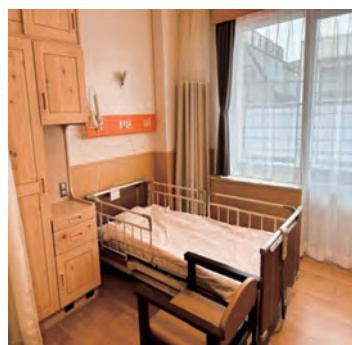
エレベーターゲートを新設しました。
平日夜間および日曜日は、暗証番号の入力が必要です。内線電話もご利用いただけます。



対面型の「アイランドキッチン」を採用しました。
カウンター前でお話しもはずみます。



浴室の天井にリフトが設置され、より安全安楽に移乗できるようになりました。浴槽はミスト浴が新設されています。



各居室のベッドの上に、見守りカメラを新設。
プライベート空間なので希望者のみの運用になります。必要以上の訪室を避けて安眠を促します。

情報公開について

三徳会では、地域の皆さま方および関係する方々に三徳会に対するご理解ご協力をいただくため、令和7年度の決算の概要を公開いたします。

紙面の関係からお知らせする内容は、概要のみとなっておりますが、詳しくお知りになりたい方は各施設の窓口にお申し出ください。

令和7年度決算の概要（令和8年3月31日現在）

① 貸借対照表 （単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	965,847,318	流 動 負 債	205,817,463
固 定 資 産	2,057,255,585	固 定 負 債	203,500,188
		負 債 の 部 合 計	409,317,651
		純 資 産 の 部	
		基 本 金	473,161,831
		国庫補助金等特別積立金	85,199,773
		そ の 他 積 立 金	1,047,482,452
		次期繰越活動収支差額	1,007,941,196
		純 資 産 の 部 合 計	2,613,785,252
資 産 の 部 合 計	3,023,102,903	負債・純資産の部合計	3,023,102,903



② 財産目録 （単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産 合 計	965,847,318	流 動 負 債 合 計	205,817,463
基 本 財 産	664,728,505	固 定 負 債 合 計	203,500,188
そ の 他 の 固 定 資 産	1,392,527,080		
資 産 合 計	3,023,102,903	負 債 合 計	409,317,651
		差 引 純 資 産 合 計	2,613,785,252

③ 事業活動計算書（社会福祉事業区分） （単位：千円）

科 目	本 部	成 幸	戸越台	荏 原	平塚橋	合 計
サービス活動収益計	12,195	526,254	610,291	1,003,116	622,675	2,774,533
サービス活動費用計	26,211	586,535	649,060	1,055,400	637,503	2,954,711
サービス活動増減差額	△ 14,016	△ 60,281	△ 38,769	△ 52,284	△ 14,828	△ 180,178
サービス活動外収益計	1,935	2,984	3,107	4,346	1,652	14,026
サービス活動外費用計	0	1,387	1,284	1,599	1,276	5,547
サービス活動外増減差額	1,935	1,596	1,822	2,747	375	8,478
経 常 増 減 差 額	△ 12,080	△ 58,684	△ 36,946	△ 49,536	△ 14,451	△ 170,699
特 別 収 益 計	34,002	29,565	345	794	1,147	65,854
特 別 費 用 計	0	5,020	345	2,783	462	8,611
特 別 増 減 差 額	34,002	24,544	0	△ 1,988	685	57,243
当 期 活 動 増 減 差 額	21,921	△ 34,139	△ 36,946	△ 51,525	△ 13,766	△ 144,456
前期繰越活動増減差額	32,978	428,023	215,586	282,445	153,830	1,112,865
当期末繰越活動増減差額	54,900	393,884	178,640	230,920	140,064	998,409
その他の積立金取崩額					9,532	9,532
その他の積立金積立額						0
次期繰越活動増減差額	54,900	393,884	178,640	230,920	149,596	1,007,941

1. 三徳会では、法人が実施している社会福祉事業の財政状態、事業活動の成果及び収支の区分を報告するため、社会福祉事業区分を設定し、法人本部、成幸、戸越台、荏原、平塚橋の5拠点区分に分類しています。
2. 千円未満を四捨五入している関係で縦、横の合計が一致しないものがあります。

新人職員研修

「KIZUKI」で学んだ大切なこと

令和8年4月2日(木)・3日(金) 荏原ホーム



例年、新人職員研修ではサービスマナーや倫理、虐待防止、認知症ケア、感染症対策など、福祉職として必要な知識を学びます。

今年度は初の試みで非常災害想定ゲーム「KIZUKI」が登場しました。大きな地震に直面したら、まずは利用者を守ること。そして次々と起こるトラブル、混乱する職員や応援要請はどうする？ 数多の課題をどう乗り越えるかをゲーム感覚で参加者同士が意見を出して対応を検討しました。活発な議論が交わされ、ご利用者の安全と安心を支える職員としての意識を高める機会となりました。



品川福祉保健従事者実践・研究発表会

外国人介護職員のキャリア構築

～人材確保から人材育成を目的にした定着支援へ～

発表者 法人事務局：大久保暢倫 富岡 豊
主 催 品川介護福祉専門学校
令和8年2月9日(月)



三徳会は令和4年度から外国人介護職員の採用を始めています。外国人が慣れない環境の中で働くためには、様々なサポートが必要です。住まいの確保や家具の手配、入職後は介護福祉士試験の講習会や日本語を習得する勉強会など多岐にわたる支援を行っています。

今回、4年間にわたる法人の定着支援を始め、職員には目指す姿を達成すべくキャリアについての統計を取り、日本で長く働く上での意欲なども発表しました。

今後も誰もが安心して働き、成長できる職場環境づくりに取り組んでまいります。

第32回 生と死を見つめる懇談会

成年後見制度で未来も安心

講師 藤藪 明知 氏 (品川成年後見センター)
令和8年3月7日(土) 平塚橋ゆうゆうプラザ



最近、成年後見制度という言葉を目にするようになりました。判断能力が低下した方の権利や財産を守るための制度として浸透しつつあります。では、任意後見と法定後見の違いは何でしょうか。

講師から後見類型や利用までの説明が行われ、参加者の質問や疑問にわかりやすく丁寧な回答をしていただきました。皆さまから「制度への理解が深まった」「家族と将来について話し合いたい」などの感想が聞かれました。また、成年後見センターでは元気なときから将来への不安に備える相談なども受け付けるなど、ためになる情報も聞き、有意義な懇談会となりました。

地域の力！ 合同防災訓練

安全・安心な施設を目指して

令和8年3月25日(水) 戸越台ホーム
参加：戸越銀座町会・戸越一丁目町会
戸越二丁目町会・品川区防災課職員



「火事です！711号室から出火！」の声かけと同時に、すぐさま職員が消火器を持って火元に向かいました。「初期消火失敗！」と大きな声がすると一気に緊張感が高まり、町会の皆さまはご利用者の避難誘導へ。ご利用者が不安を感じないようにと声をかけながら、速やかに防火扉の先へ誘導しました。

避難誘導訓練の次は屋内消火栓の放水訓練を行いました。建物の防火設備の説明と見学を終えた地域住民の方からは「有事のときは住んでいるところしか考えられなかった。今回の訓練で町会として何ができるかを考えるよい機会になりました」とのお言葉をいただきました。地域の力をありがとうございました。



思いがこもった「つるし雛」

春の訪れを感じていただこうと、「つるし雛」を飾りました。つるし雛は、江戸時代に庶民の間で生まれたひな祭りの飾りで、雛人形が高価で手に入りにくかったため、布の端切れで小さな人形や縁起物を作り、糸に吊るして飾ったことが始まりです。

単なる装飾ではなく、一つ一つの人形や小物には「健やかな成長」「無病息災」「豊かさ」などの願いが込められています。利用者の皆さまも「きれいだね」「懐かしいわ」と笑顔で眺めておられました。季節を感じる行事を通して、会話も弾み、心温まるひとときとなりました。これからも、四季を感じられる催しを大切にしながら、皆さまに楽しんでいただける時間を提供してまいります。



藤の花は満開に

季節を感じていただく取り組みとして、お花紙を使った「藤の花」づくりを行いました。利用者の皆さまは、お花紙を一枚ずつそっと広げ、色を選び、重ねて糊付けしながら、思い思いの藤の花を形づくってくださいました。

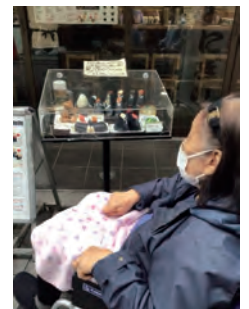
職員と相談しながら工夫する姿や、完成した花を見て「きれいにできたね」「デイサービスが華やいだね」と笑顔がこぼれる様子がとても印象的でした。「昔、藤を見に行ったことを思い出したよ」という声もあり、作品を通して季節の思い出もよみがえったようです。手を動かす楽しさや達成感を感じていただきながら、温かな時間を共有できた活動となりました。今後も季節を楽しめる制作を続けてまいります。



待ちに待った桜の開花宣言

ある日、「桜はいつ咲くのかしら」というご利用者の声が聞こえてきました。そして東京に桜の開花宣言が出た日、「やっと開花宣言が出たわよ、桜を見に行きましょう」と嬉しそうに教えてくれました。

小さいけれど桜の名所である公園に行くには、戸越銀座商店街を通ります。楽しみながら歩くのもリハビリになります。「だいぶお店が変わったわね、でも懐かしいわ」と話しながら路地を出ると、公園に到着です。皆さま一斉に「わーきれいな」と感動され、「これで寿命が延びたわ」と話す方も。ちょっとした外出で皆さまの寿命が延びるとは、とても嬉しい言葉です。「何度でもお連れしますね」とご利用者と心の中で指切りげんまんをしました。



戸越銀座商店街へお散歩！



今年度の認知症対応型デイサービスの新企画は「銀ブラ散歩」です。都内屈指の商店街である戸越銀座を歩くと皆さまの胸も自然と高鳴ります。「久しぶりに来たわね。こんなに変わっちゃって!」と懐かしむ声や、ブラブラ歩けば「こんなお店もあるんだ」と新たな発見も。

さわやかな風を感じ、「気持ちがいいね!」「また出かけたね」と嬉しい声がたくさん寄せられました。皆さまの表情も輝いて、いきいきした笑顔と弾む会話がとても印象的でした。これからも季節を感じる時間を大切に「銀ブラ散歩」を楽しみましょう。次回はちょっと足を延ばして「ギンちゃん」(戸越銀次郎)に会いに行きましょうか。



お帰りなさい「ピアノの調べ」

改修工事期間、倉庫に保管していたアップライトのピアノが帰ってきました。

数年間倉庫で眠っていたピアノは鍵盤に触れても音が出なくなってしまう、活躍してもらうのは難しいかと諦めかけましたが、一縷の望みをかけて、調律師さんをお呼びしました。

一音一音を確認しながらの気が遠くなるような調律でしたが、さすがの職人技で見事に復旧！ 手を置いてみると美しい音色が響きました。

さて、蘇ったこのピアノ。最初の演奏者は成幸ホームのピアノボランティアの方で、ホームに隣接していた内野医院が閉院するまで勤めた薬剤師さんです。医院共々長年にわたりお世話になりました。

これからもピアノの音色が続きますように。



みんなで歌う音楽会 ♪

合唱ボランティアの「オーシャン・グリー・ハーモニー」の皆さまがいらっしゃいました。テーマは、みんなで歌う音楽会です。「青い山脈」や「高原列車は行く」は発声練習にもなるお馴染みの歌。ご利用者もだんだんと声が大きくなり、徐々に盛り上がっていきました。

「東京音頭」では、法被や浴衣姿の皆さまが盆踊りを披露し、ご利用者も自然と手や足が動いてあっという間に時間が過ぎました。最後の歌が終わると、ご利用者から「アンコール！」の声に答えて、もう一度「東京音頭」の盆踊りが始まりました。

鳴りやまぬ拍手のなか、皆さまの心が一つになり、最高のひと時を過ごすことができたことを感謝しています。とても素晴らしい音楽会でした。



魅せる粋な蕎麦打ち

本日のイベントは「蕎麦打ち」です。鉢巻姿の粋な蕎麦職人が登場した後は、鮮やかな手つきで蕎麦粉をこね、延ばし、そしてたたむ。どれも奥深く難しい工程です。

利用者の皆さまにも、体験していただこうと、蕎麦粉に触れたり、たたんである生地を伸ばして切ってみたりしました。「初めてだから難しいね」と笑いながら挑戦される方もおり、和やかな雰囲気の中で楽しまれていました。

蕎麦が形になっていく様子を興味深く見ながら、「昔を思い出したよ」「いい香りだね」という声も聞かれました。目の前で魅せた粋な蕎麦打ちの醍醐味を感じ、利用者同士や職員との会話も弾み、たくさんの笑顔が見られた楽しいひとときとなりました。



タオルで何する？



「あんずが実っている！」
1年おきに実るはずのあんずを発見したのは5月初旬。みるみる鮮やかに色づき5月30日に収穫しました。屋根から実を落とし、ご利用者と職員でタオルを広げてキャッチ。熟した大きな実をタオルで受けると歓声が上がりました。なんと合計110個。あんずジャムを作っておやつの時間にいただく計画を立てました。

室内ではタオルを使ったレクリエーション。2人組でお手玉を乗せたタオルの端を持ち、ゆらゆら揺ら



しお手玉を得点のついたカゴに放ります。息を合わせて、1、2、3！ 放物線を描いて百点のカゴに入ると拍手で大盛り上がり。「練習が必要ね」と次回の開催も約束されました。

三徳会元気クッキング（地域貢献活動）

～親子で作ってみよう～

令和8年6月13日(土)
平塚橋ゆうゆうプラザ



三徳会元気クッキングを開催しました。今回は「親子で作ってみよう」というテーマで、簡単で楽しく作れる料理を紹介しました。料理開始とともに会場は活気に満ちあふれ親子の共同作業はスムーズに進んでいきました。

ご飯をボールのように握り、油揚げが破れないように慎重に詰め、出来上がった時には、拍手喝采の「カラフルいなり寿司」や、上出来な水ようかんに「お母さんに作ってあげるんだ」と意欲満々な子が頼もしく感じる場面もありました。子どもが包丁やIH調理器を使うときは大人の真似をして真剣に挑戦。試食では品評会さながらの盛り上がりとなりました。

またの参加をお待ちしています！

認知症サポーター養成講座

令和8年6月2日(火)
荏原在宅介護支援センター



東京都美容組合品川支部の組合員の方を対象に認知症サポーター養成講座を行ってきました。2年に1度、更新をする際に認知症サポーター養成講座を受講しているとのことでした。回を重ね、なかには今回の受講は3回目という方も。

それでも職員の講義に真剣に耳を傾け学ばれている姿が印象的でした。「認知症になっても住み慣れた町で暮らし続ける」ためには、地域住民の理解と協力は必要不可欠です。何気ない日常生活を送ることの大切さ。組合員の美容師さんが多く存在していて、その暮らしを見守って下さっていると思うと大変心強い存在だと気づかされました。

これからもご協力よろしくお願いします。



職員リレーエッセイ



荏原ホーム
須田 里枝

忘れたくない出来事

私には最愛の息子が2人います。母の日の夕方。いつも通り夕飯の支度をしていると、なにやらソワソワし始めた兄弟。「ママー！いつもありがとう！」と、2人からプレゼント。兄からは、菊の花束。弟からは、ビニール袋に入ったままの、小さな葉っぱの苗ポット。……母の日に菊!? しかも弟、花ですらなく“葉っぱ”。びっくりしている私に、兄が言いました。「ママに似合うと思って、この花にしたんだ！」さらに弟も「ママ、葉っぱ飼うの上手だから！」その言葉と真っ直ぐな笑顔に思わず顔がほころびました。

大人になると、「普通はこう」「こうすべき」と考えてしまい、自分らしい感性を隠してしまうことがあります。でも子どもは、“世間の正解”ではなく、“その人自身”を見ているんですね。そして次男へ。植物は“育てる”もので、“飼う”ものではありません(笑)。でも、そんな自由な感性を、ずっと忘れないでほしい。その人らしさを見ること。まっすぐ気持ちを伝えること。この子たちが誇れる母でいたい。そして、そっと心に寄り添える介護士でいたい。そんな温かい人でいたい。そう思えた、母の日でした。

ちなみに、菊の花言葉には「高貴」「気品」「信頼」「長寿」。ママ、菊の花みたいに、気品があって、お年寄りを大切にできて、信頼してもらえる人になるね。そして、コツコツ小さな積み重ねを大切に、植物まで“飼える”人になるね(笑)。こちらこそ、いつもありがとう。今日も元気に帰ってきてね。

介護の魅力

😊 職員募集 😊

「ありがとう」がやりがいにつながる仕事です。私たちは、利用者様一人ひとりの暮らしを大切にしながら支援しています。特別養護老人ホームと一緒に働く介護職員を募集しています。一緒に働きませんか？

採用についてはこちら



お知らせはこちら

